

委員会行政視察報告

常任委員会及び放射能等災害対策特別委員会が、所管事務にあわせて、本市の抱えている課題を把握し解決等に役立てるため、先進市や市内の現地視察を実施いたしました。(正・副委員長は平成23年9月選出)

総務委員会

〔視察日〕平成23年11月1日・2日



委員長 永野 正敏



副委員長 宮田 清子

〔視察地・視察項目〕

◎長崎市（長崎県）

職員力の向上

◎鳥栖市（佐賀県）

インターネット公表

〔概要〕

長崎市では職員力の向上を目的に、新たな視点から創造性のある政策立案や身近な業務改善を進めている。特に業務改善力を入れており、実際に職場で行われた改善を一年に一度報告し、検証している。今後は事務の効率化を重点項目とし、特に改善の質・量・スピードを上げる取り組みを行う予定である。

鳥栖市では、インターネット上で運営している官公庁オークションに参加している。インターネットによる公売を行うメリットは、多くの入札が期待できることや24時間入札に参加できることが挙げられる。ただ、準備から商品発送までの事務量が多いことや、差し押さえ動産によつては費用対効果が低い場合がある等、デメリットもある。

課題としては、差し押さえする物品の真贋等を職員が判断しなければならぬことや出品物の見積価格の設定が難しい。今後は、落札額が高くなる自家用自動車等の差し押さえや不動産の出

品を考えている。



市民環境委員会

〔視察日〕平成23年10月12日・14日



委員長 末永 康文



副委員長 武藤美津江

〔視察地・視察項目〕

◎大館市（秋田県）

地域づくり協働推進支援事業

◎能代市（秋田県）

森林バイオマス等活用施設整備

◎青森市（青森県）

生ごみリサイクル推進事業

〔概要〕

大館市は地域活性化対策として、住民が組織する自治会等にて、計画支援事業（上限20万円）と活動支援事業（上限10万円）からなる地域づくり協働推進支援事業を行っていた。事業の実施期間は22年度から5年間で、補助期間は最長で3年間である。能代市は木材加工業の盛んな地域だが、出荷量は年々減少傾向

向にあった。法令の改正で焼却炉の新設等が必要となり、資源の循環利用も叫ばれるようになったこともあって木質バイオマス発電所を導入した。

青森市は全国的にも、一人当たりのごみ量は多いが、リサイクル率は低い。家庭ごみの多くを占める生ごみのリサイクル事業として、生ごみ処理機購入費助成制度と段ボールコンポスト講習会を行っていた。市では両事業導入の効果として年間40トンを超える量の生ごみの減少を見込んでいる。

保育園の民営化事業

◎箕面市（大阪府）

小中一貫校への取り組み

〔概要〕

尼崎市では、ゼロ歳児保育や障害児保育などの多様な保育ニーズにこたえようと、効果的な保育行政を目指し、平成10年度から公立保育所の民営化に取り組んでおり、現在は公立29カ所、私立52カ所となっている。今後も民間移管を推進するに伴い、一定数の公立保育所は残り、市の保育水準の維持向上、各種子育て支援事業との連携など、経験を生かし事業を取り組んでいる。



教育民生委員会

〔視察日〕平成23年10月20日・21日



委員長 助川 忠弘



副委員長 塚本竜太郎

〔視察地・視察項目〕

◎尼崎市（兵庫県）

建設経済委員会

〔視察日〕平成24年1月予定



委員長 小泉 文子



副委員長 松本 寛道

〔概要〕

建設経済委員会の視察については、今後実施の予定となっております。

放射能等災害対策特別委員会

〔視察日〕平成23年11月7日



委員長 上橋 泉



副委員長 小松 幸子

〔放射能等災害対策特別委員会〕

昨年第3回定例会において、9月20日に放射能等災害対策特別委員会の設置について、議会運営委員会から議案が提出され、同日に全会一致で可決された。

〔設置目的〕

放射能災害及び地震、暴風、豪雨、豪雪、洪水その他の災害または大規模な火災、爆発等の事故の被害に係る諸問題を調査研究し、その対応策を立てることを目的としている。

〔委員定数・調査期限〕

委員は12人以内とし、現在12名の委員が所属している。また、調査期限は調査目的が終了するまでとし、閉会中もお活動きるものとした。

〔視察地・視察項目〕

◎南部クリーンセンター、沼南第二最終処分場、柏市最終処分場、北部クリーンセンター、焼却灰等の保管状況について

〔概要〕

南部クリーンセンター及び北部クリーンセンターにおいて焼却灰の一部から8,000ベクレル/キログラムを超える放射性セシウムが検出された。現在その焼却灰が各クリーンセンター及び柏市最終処分場に保管されている。

その保管状況と周辺の放射線量を確認するため、南部クリーンセンター、北部クリーンセンター及び柏市最終処分場を視察した。また、視察時点では、市内の草木・枝を焼却せず、沼南第二処分場と北部クリーンセンターに保管しているため、その保管状況と周辺の放射線量を確認するため現地視察を行った。

